

年間計画の進行状況の一部（別表）

項目	改善内容
午後外来の開始	▷午前の混雑さの改善 ▷夜間受診者の減
訪問診療の分担 および訪問日の明確化	▷3人で地区ごとに分担 ▷次回までの処方日数の明確化 ▷効率よく訪問できることによる件数の増
院内意見箱の設置	▷玄関前に意見箱を設置 ▷患者さんの意見を聞き情報の共有・検討
年間スケジュールの作成	▷年間スケジュールの作成 ▷行事の把握が容易
院内採血検査の統一	▷採血項目を統一 ▷事務手続きの簡素化
療養病床の期限化	▷半年を上限とし、平等な患者受け入れ ▷退院に向けケアマネジャーとの連携強化
入院時一般検査の導入	▷入院時検査項目の統一
院内BGMの開始	▷AM9:00～PM5:00までBGMを放送し院内の雰囲気改善
外来、こぶし苑、只見ホームの方の情報要約	▷カルテ棚の整理 ▷病歴が整理 ▷急変時等の情報把握が容易
紹介状・主治医意見書等の電子化	▷データ管理により手書きの煩雑さの解消
外来処方箋の見直し	▷処方欄の紙の色を変更し薬を整理 ▷事務手続きの簡素化
病棟会議	▷毎週月曜に会議を開催 ▷スタッフ間で情報の共有化を図り課題解決
各種委員会	▷医師・看護師・事務で委員会を開催し課題解決（医療安全・感染対策・医療機械・薬品）
各種マニュアルの作成	▷委員会におけるマニュアル作成 ▷必要に応じた改訂を図ることが可能
看護部会	▷月1回定例化し有意義な会議開催
入院担当医師の明確化	▷担当医師を決め説明責任医師が明確
訪問看護との連携	▷連絡ノートの作成により患者情報を共有

医療・診療環境のさらなる充実を目指して。。。

地域医療の充実を目的として、昨年4月より常勤医師3名体制をとり、診療に当たるといふ新体制から一年が経過、朝日診療所は皆さんの安心を維持するため、皆さんのご要望に対応しながらこれからも努力していきます。

朝日診療所が新体制となり一年が過ぎました。

昨年度、住民の皆さんが安心して生活できるよう、また、心身ともに健康で生活できるように、職員一同努力してきました。

町内で救急要請があった際の受け入れがほぼ100%である

ため、救命処置にも力をいれつつ、南会津・会津若松の二次・三次病院との連携も強化してきました。

職員が安全に、充実した職務が遂行できるよう、人員配置等の改善を行いました。診療所内のマニュアルを策定し、医療事務

故・院内感染等が起こらないよう、また、医療器械の定期メンテナンスが円滑に行えるようにしました。

職員の待遇など、まだ課題はありますが、経営についても町の財政を圧迫させないよう、医療機関は赤字で当たり前の考

えは捨て、経費削減について職員一丸となり取り組み、現在少しずつその結果が出てきています。

豪雪地帯で高齢化が進み、大きな病院まで二時間かかる、町唯一の医療機関である、といった厳しい環境を逆に生かし、医学生・研修医・救急隊員の「地域医療」の研修施設として利用し、充実した研修を行っております。今年度も引き続き研修を継続していきますので住民の皆さんのご協力をお願いします。

その他、昨年度の具体的な診療所の活動内容については別表のようになりますが、結果として、良い方向に進んでいるのではないかと考えております。

今後とも、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

（朝日診療所 所長 佐竹 秀二）

只見町の予算です

◆ 厳しい財源の有効活用に向けて 選択的・重点的な事業展開を

只見町の平成二十二年度予算が決定しました。町税収入・地方交付税等の推移や国・県からの補助金・交付金等の配分状況を踏まえ、経常経費を極力抑制し、「第六次只見町振興計画」を中心とした各種計画等を踏まえた施策を選択的かつ重点的に展開する予算編成となっています。

一般会計の予算規模は四十億二、一〇〇万円となり、前年度対比一億九、一〇〇万円の増、伸率五%増となっています。

また、十三ある特別会計については、その合計額は二十三億九、九八〇万円です。一般会計と合わせた平成二十二年度予算総額は六十四億二、〇八〇万円です。自立と助け合いのまちづくりを目指し、町の台所事情に合わせた「思い切った行財政改革」と「住民協働」による事業展開を推進します。

◆ 一般会計 歳入

予算の内容を見てください。歳入のトップは、「依存財源」(国や県から入るお金)に含まれる地方交付税で、歳入全体の四六・九%を占め、国税の別枠加算等により前年度に比べて二、〇〇〇万円の増額を見込んでいます。

また、「自主財源」(町が独自に確保にできるお金)では、町税が歳入全体の二三・二%で、前年度に比べて四、四二三万四千円の減額となり、厳しい予算編成を余儀なくされています。

◆ 一般会計 歳出

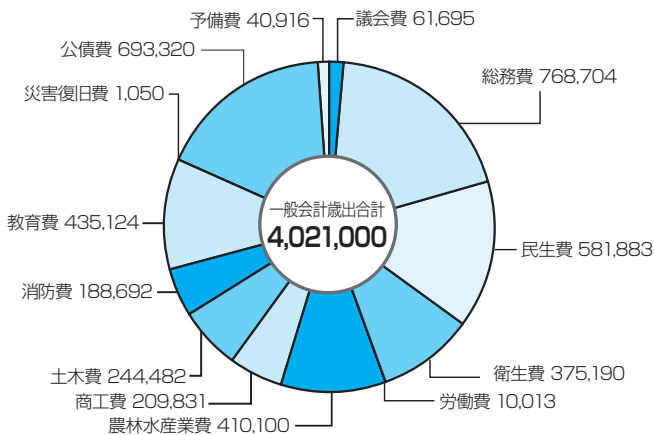
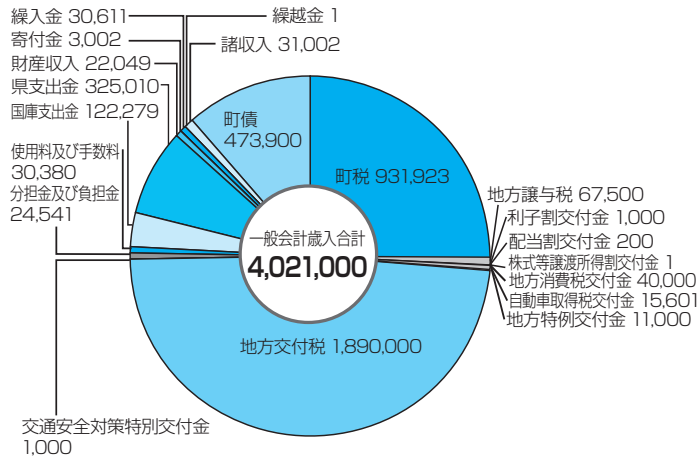
歳出は、総務費の占める割合が一九・一%と最も高くなっています。これは、新総合行政システム(電算システム)再構築事業や参議院議員・県知事・県議会議員・農業委員選挙の費用等の伸びによるものです。

次に公債費の占める割合が一七・二%となっています。これは、町が借り入れしているお金の返済に充てられるものです。昨年度に引き続き、将来負担軽減のため、学校施設整備事業債七、七二〇万円の繰上償還を計画しております。

続いて、民生費、教育費、農林水産業費、衛生費、土木費、商工費、消防費の順となっています。教育費の増は、町下野球場改修事業や明和小学校プール解体工事などが主な要因です。商工費の増は、プナセンター事業が総務費から移動したことによるものです。

また、労働費の減は、緊急雇用対策事業の各費目振替によるもの、公債費の減は、起債額抑制と繰上償還によるものが主な要因となっています。

2,100万円



歳入 (単位: 千円)

項目	22年度	構成比	21年度	増減率
町税	931,923	23.2%	976,157	-4.5%
地方譲与税	67,500	1.7%	71,200	-5.2%
利子割交付金	1,000	0.0%	1,029	-2.8%
配当割交付金	200	0.0%	200	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1	0.0%	1	0.0%
地方消費税交付金	40,000	1.0%	40,000	0.0%
自動車取得税交付金	15,601	0.4%	15,601	0.0%
地方特例交付金	11,000	0.3%	7,200	52.8%
地方交付税	1,890,000	46.9%	1,870,000	1.1%
交通安全対策特別交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
分担金及び負担金	24,541	0.6%	22,575	8.7%
使用料及び手数料	30,380	0.8%	29,820	1.9%
国庫支出金	122,279	3.0%	64,363	90.0%
県支出金	325,010	8.1%	261,383	24.3%
財産収入	22,049	0.5%	22,219	-0.8%
寄付金	3,002	0.1%	3,002	0.0%
繰入金	30,611	0.8%	104,684	-70.8%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	31,002	0.8%	30,265	2.4%
町債	473,900	11.8%	309,300	53.2%
歳入合計	4,021,000	100.0%	3,830,000	5.0%

歳出 (単位: 千円)

項目	22年度	構成比	21年度	増減率
議会費	61,695	1.5%	61,199	0.8%
総務費	768,704	19.1%	703,361	9.3%
民生費	581,883	14.5%	539,855	7.8%
衛生費	375,190	9.3%	366,148	2.5%
労働費	10,013	0.2%	30,013	-66.6%
農林水産業費	410,100	10.3%	427,378	-4.0%
商工費	209,831	5.2%	157,761	33.0%
土木費	244,482	6.1%	243,157	0.5%
消防費	188,692	4.8%	166,271	13.5%
教育費	435,124	10.8%	276,833	57.2%
災害復旧費	1,050	0.0%	1,050	0.0%
公債費	693,320	17.2%	799,155	-13.2%
予備費	40,916	1.0%	57,819	-29.2%
歳出合計	4,021,000	100.0%	3,830,000	5.0%

■平成22年度の主な事業

■住民と行政が協働するまちづくり

- 集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり
 - 1,187万円 まちづくり推進事業(3地区センター)
 - 450万円 町づくり事業補助金(3地区センター)
- 情報通信基盤の整備
 - 207万円 テレビ難視聴地域解消事業費補助金
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
 - 1,893万円 新多目的交通システム運営補助金
 - 894万円 地域公共交通運行事業

■自然に感謝するまちづくり

- 雪と共存するまちづくり
 - 9,626万円 町道・歩道除排雪経費
 - 350万円 除雪支援事業給付費
 - 1,150万円 雪まつり実行委員会補助金
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 2,340万円 合併処理浄化槽設置補助金(26基)
 - 1,120万円 合併処理浄化槽排水管敷設事業
- 環境衛生の充実
 - 9,464万円 西部環境衛生組合負担金
- 道路網の整備
 - 8,178万円 町道改良、町道補修事業
 - 303万円 橋梁点検調査事業

■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 1,244万円 各種検診事業(特定健診、各種がん検診等)
 - 858万円 新型インフルエンザ対策経費
- 安心して子どもを生育てられるまちづくり
 - 4,642万円 子ども手当支給事業
 - 431万円 妊産婦・乳幼児健診事業
 - 599万円 未就学児の医療費無料化事業
- 高齢者・障がい者福祉の充実と元気づくりの推進
 - 100万円 地域福祉計画策定事業
 - 100万円 療育児童通院交通費給付費
- 安心できる暮らしづくり
 - 1億3,625万円 両会津広域市町村圏組合消防費負担金
 - 3,074万円 非常備消防費(消防団経費)
 - 559万円 消防防災施設・機材等整備事業
 - 291万円 消防ポンプ操法大会参加事業
 - 161万円 安全施設設置事業(防犯灯)

■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり

- 誇りが持てる農業の振興
 - 2,108万円 中山間地等直接支払事業補助金
 - 2,700万円 県営中山間地域総合整備事業負担金
 - 105万円 通年栽培実証試験事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 608万円 緊急雇用創出基金事業(林道補修)
 - 2,631万円 道整備交付金事業(林道整備)
 - 540万円 県営ふるさと林道緊急整備事業負担金(楮戸橋)
- 特色を活かした魅力ある観光の振興
 - 600万円 只見町観光まちづくり協会法人化支援事業
 - 423万円 緊急雇用創出基金事業(登山道整備等)
 - 2,102万円 フナセンター運営事業
- 産業間連携と産業おこしの推進
 - 1,000万円 コミュニティビジネスモデル支援事業

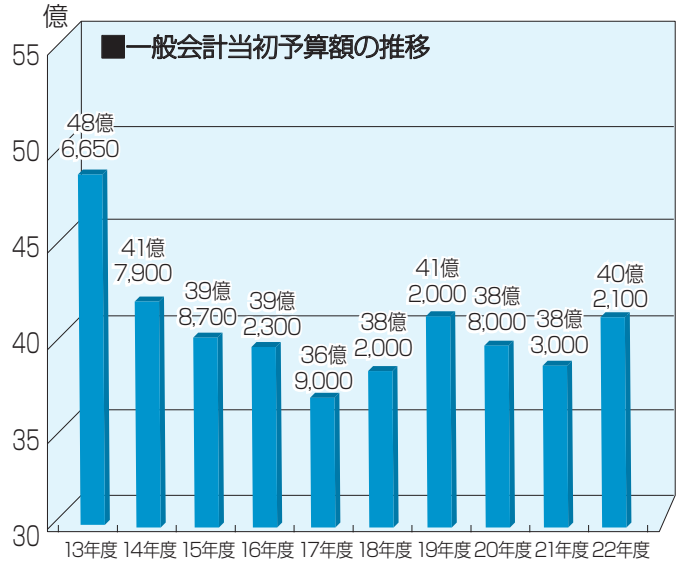
■教育、文化を大切にすまちづくり

- 広い視野を持ち地域を理解する人づくり
 - 190万円 只見学推進・地域人材育成事業
- 地域文化の振興(人の技・物・食の伝承)
 - 2,170万円 七十刈遺跡発掘調査事業
 - 241万円 歴史資料・民族文化財整理活用事業
- 次世代を担う子どもたちの教育の充実
 - 177万円 小・中学校学力向上事業
 - 940万円 只見高校振興対策補助金

■特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	22年度	21年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	575,000	575,000	0.0%
国民健康保険施設特別会計	398,000	355,000	12.1%
老人保健特別会計	1,000	2,000	-50.0%
後期高齢者医療特別会計	120,000	121,000	-0.8%
介護保険事業特別会計	545,000	545,000	0.0%
介護老人保健施設特別会計	233,000	234,000	-0.4%
訪問看護ステーション特別会計	22,000	22,000	0.0%
地域包括支援センター特別会計	10,000	10,000	0.0%
簡易水道特別会計	126,000	98,000	28.6%
観光施設事業特別会計	36,000	33,000	9.1%
交流施設特別会計	51,000	110,000	-53.6%
集落排水事業特別会計	270,000	227,000	18.9%
朝日財産区特別会計	12,800	8,800	45.5%
合計	2,399,800	2,340,800	2.5%



一般会計 予算総額 40億



■町税の内訳

- 町民税…………… 1億3,739万7千円
- 固定資産税…………… 7億5,772万1千円
- 軽自動車税…………… 1,027万2千円
- 町たばこ税…………… 2,121万3千円
- 入湯税…………… 532万0千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)… 5,144人
 ■一般会計支出額(使われるお金の額)… 781,687円
 ■町税負担額(納めていただくお金の額)… 181,167円